

就職支援からキャリア教育へ ～全てを知ったうえで自分の進むべき道を 決めるために～

東北公益文科大学

キャリア開発センター長 松尾慎太郎



1 本学の概要

本学は、「尊重し調和へ」を基本理念とし、公益社会を実現していくために、人材育成像として、「グローバルな視野を持ち、地域の人々とともに、地域社会が直面する、経済、行政、福祉などの課題に、リーダーシップを持って果敢に取り組む人材」を掲げ、2系6コースのカリキュラムを作成し、教育活動を進めている。

2 本学のキャリアサポートプログラム

本学では、一人ひとりの社会的職業的自立に向け、必要な基盤となる知識の獲得と態度の醸成を通してキャリア発達を促すため、1年次と2年次にキャリア科目を必修化し、様々なキャリアサポートプログラムを展開している。

1年生を対象にした「キャリア入門a」では、自分のキャリアについて、より主体的に考えられるようになることを目標としている。大学生となった今こそ、改めて大学での学びと進路選択について考え直し、大学とはどのような場なのか、大学で何をどのように学ぶのか、ということについての理解を深めてもらう。「キャリア入門b」では、職業興味と自己理解に基づき、大

学生生活を充実させるためのアクション・プランを立てることを目標としている。職業レディネス・テストを通じて、職業興味と自己理解を深め、身近な先輩学生による講話を通じ、大学時代をどう過ごすかについて考えてもらう。これらの授業を通じて、学生が自ら立てたアクション・プランに基づき、学内外の様々な活動に主体的に参加できるようにすることが望まれる。

2年生を対象にした「キャリアと人生a」では、働き方・働く環境についての知識を身につけ、働く自分のイメージを形成することを目標としている。労働統計などのキャリア形成に関するデータに基づき、会社で働くことについての正しい知識を身につけ、県内企業で働く職業人による講話から多様な業界職種についての理解を深め、社会で求められている力をどのようにして獲得するかを考えてもらう。「キャリアと人生b」では、卒業後のキャリア・プランを立てる際に必要な知識・視点を理解したうえで、主体的に自分のキャリア・プランを立てられるようになることを目標としている。ライフ・イベントや働き方、ワーク・ライフ・バランスについて理解したうえで、金銭感覚を伴ったキャリア・プランについて考えてもらう。これらの授業を通じて、ワーク・キャリアに

とどまらず、ライフ・キャリアについても展望する機会を設けている。

3年生を対象とした「就職セミナー」についても単位化し、就職活動に向けての実践的スキルの育成を行っている。また、本学オリジナルの就職手帳の配付や3年生全員を対象にした個別面談の実施など、学生一人ひとりが納得のいく進路を実現するためのサポートを行っている。

3 これからの就職支援とキャリア教育

人生100年時代と言われる中、終身雇用は限界を迎えつつあり、新卒一括採用に加え、ジョブ型雇用を念頭においた採用も含め、複線的で多様な採用形態への移行が図られようとしている。これまで誰も経験したことのない時代において、学生たちに豊かに自分らしくキャリアを積み重ねてもらうためにも、就職支援にとどまらないキャリア教育が重要であると考える。

「人生100年時代の社会人基礎力」で示されている「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」、「どう活躍するか」という3つの視点について、学生自身が卒業後も考え続けられるように、確かな知識の獲得と主体的な態度を醸成するキャリア教育に今後も取り組むたい。